

# 日本における「留学」の現状

—日本語教師の国家資格化にも関連して—

2024.5 菅原ゆき子

外国人留学生が日本の大学等を受験する際、成績の提示を求められるものの1つに「日本留学試験」というのがあります。この試験は、日本の大学等で勉強するに足る基礎学力と日本語力があるかどうかを見るもので、マークシートで解答する問題のほかに記述問題があります。記述問題は課題文があり、それについての論述内容、文章の構成、日本語の表記や文法の正しさなどについて評価されます。

私はその模擬試験の採点業務にも携わっていますが、数年前と比べて学生の質が著しく低下していることを痛感しています。

課題の具体的な内容は言えませんが、例えばレストランで配膳サービスに使われているロボットについての意見を求められているのに対して、工場などで使われている機械と混同していたり、「私は大学でITを学びたいです」というような頓珍漢なことを書いていたりします。でも、これでもいい方で、ひどいものでは課題文の丸写し・自己紹介文・白紙などもあります。採点基準に照らし合わせてきちんと採点できる答案是、ごく一部しかありません。(ついでですが、答案の出来具合は出身国による差や特徴がはっきりしています。こんなことを言うと、昨今のSDGsの観点からは批判されるかもしれませんが…)

このような学生が、数か月後には入試に挑もうというのです。彼らは本当に日本で勉強がしたいのでしょうか。

勿論大学はそう簡単には行けません。日本人学生と一緒に学べるような専門学校(学科)にもなかなか入れません。そこで、彼らのような留学生ばかりを受け入れる専門学校(学科)、いわゆる「ビザ専」(ビザを出してもらうために行く専門学校)に進学することになります。つまり、彼らの多くは留学生とは名ばかりで、日本語学校2年間+専門学校2年間でアルバイトをして自国に仕送りするのが目的なのです。日本語学校や専門学校には出席率のためだけに通っている(出席率が悪いと帰国させられます)ので、当然勉強には身が入らず、授業中居眠りをしたり、おしゃべりをしたりということになります。立ち歩いたり勝手に教室を出て行ってしまい、学級崩壊状態のところもあります。中には、授業をする先生と学生を個別に注意して回る係の2人体制でやっている学校もあると聞いたことがあります。

日本はもはや、学ぶべき国ではなく、お金を稼がせてくれる国なのです。そのために彼らは書類を偽造し、借金してまで留学ビザを獲得します。

ではなぜこんな状況が放置されているのでしょうか。日本の政策を担う人たちが留学生の目的の変化にまだ気づいていないのでしょうか。それもあるかもしれませんが、日本社会が彼らの労働力を当てにして黙認している、という可能性もあるかもしれません。

ここ数年、コンビニに外国人の店員が増えたなあと感じている人は多いと思います。コンビニ店員だけでなく、深夜の仕分け作業やコンビニの弁当作りなどに多くの留学生が従事

しています。新聞配達の奨学生もいます。夜勤は日勤より時給がいいですし、奨学生は給料のほかに学費を出してもらえます。そして日本人はあまりやりたがらない仕事ですから、このような職場では彼らの労働力が必要とされているのです。

外国人労働力の問題については、当フォーラム代表の赤石和則先生が「日本の『技能実習制度』とアジア各国の募集事情」の中で述べられていますので、ここでは詳細は割愛しますが、労働目的に留学ビザを使って来日する「まやかし留学生」を日本語学校に受け入れ、さらに専門学校に進学させている現状には大いに疑問を感じます。彼らは勉強に対するモチベーションがないので、結局勉強に脱落し、行方不明になり、犯罪などの問題を起こす者もいるからです。

このような日本語教育現場に目をつぶったまま、文科省は、日本語教師の質の向上とそれを維持するという目的で日本語教師の国家資格化を進め、今年から実施されることになりました。しかし教師よりも先に、学生の質を担保する制度を確立するほうが先なのではないでしょうか。本当に勉強したいという向学心のある学生を育ててこそ教師のやりがいですし、表面的な資格制度よりも教師の質も自然に上がるはずですが、まやかし留学生相手では、教師の側だってやる気がなくなりますし、腕の磨きようもありません。一向に勉強しない学生たちに嫌気がさし、そんな学生ばかりを集める学校に見切りをつけ、退職してしまう日本語教師もいます。このままの状況で国家資格化を実施しても、まず学生の質を上げなければ「教師の質の向上と維持」など望めないと思います。

「まやかし留学生」は複雑な構造的問題を孕んでいる一方で、その労働力が求められてもいるという事実があります。日本語教師・労働力を求める企業・そして彼ら自身のためにも、本当に勉強したいという目的を持った留学生としっかり区別し、留学生という仮面を被らずとも正規の労働力として受け入れる手立てはないのでしょうか。現在日本は、特定技能制度を拡大しつつありますが、同時にこの日本語教育現場の実態を直視し、解決に取り組んでもらいたいと希望しています。

(日本語教師、グローバル教育フォーラム運営委員)